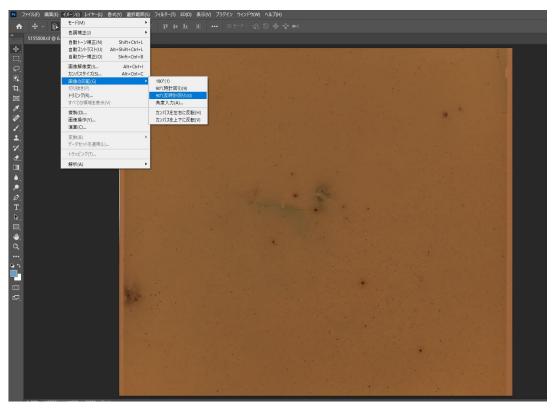
# カラーフィルムデータからカラー画像を作成する方法

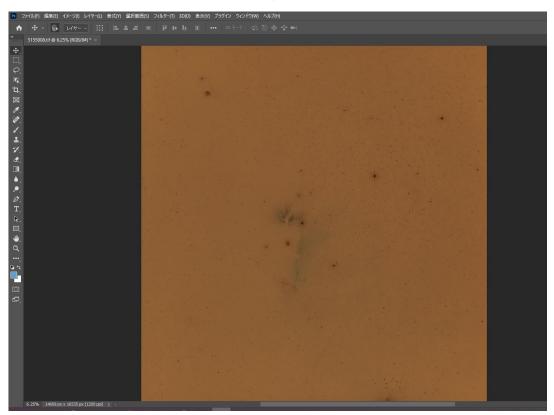
※ Adobe Photoshop 使用

### 1. 画像の回転

イメージ  $\rightarrow$  画像の回転  $\rightarrow$  90° (反時計回り)を選択し、画像を北が上になるように反時計回りに回転する

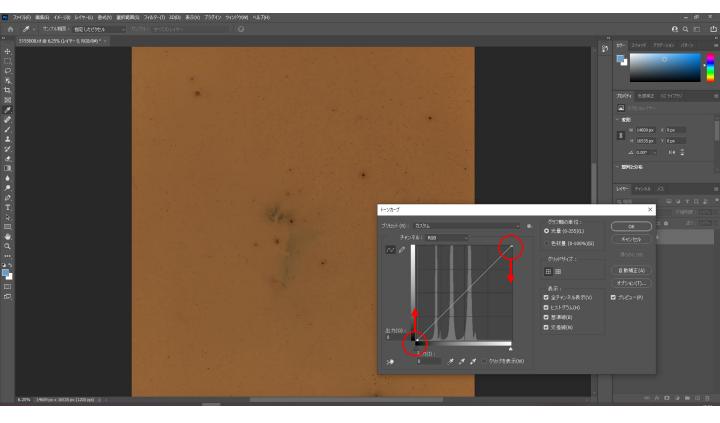






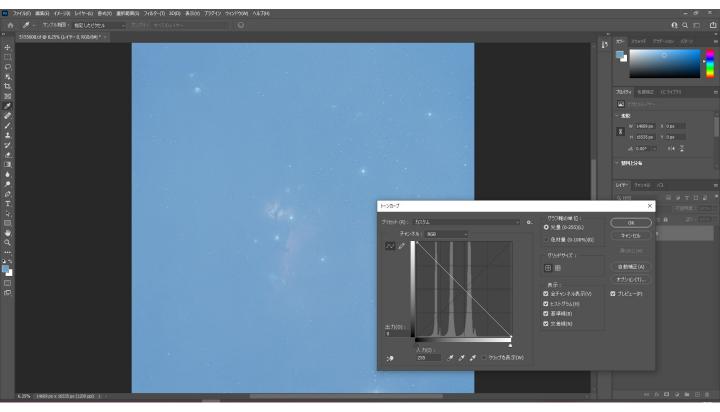
#### 2. 諧調の反転

①イメージ → 色調補正 → トーンカーブを選択し、トーンカーブのパネルを開く。



②トーンカーブの左端を持ち上げて右端を下げる。





諧調が反転し、ポジ画像になる

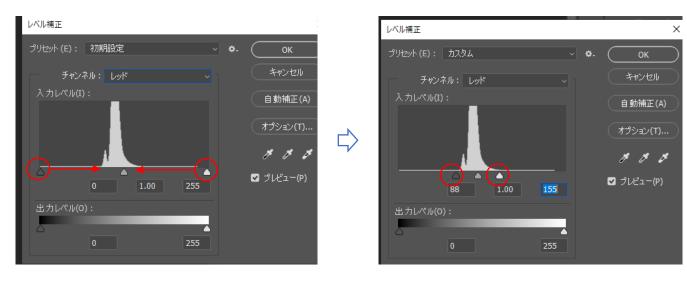
#### 3. 入力レベルの調整

RGBの入力レベルをそろえて、全体が水色がかっているのを補正する。

①イメージ → 色調補正 → レベル補正を選択し、レベル補正のパネルを開く。



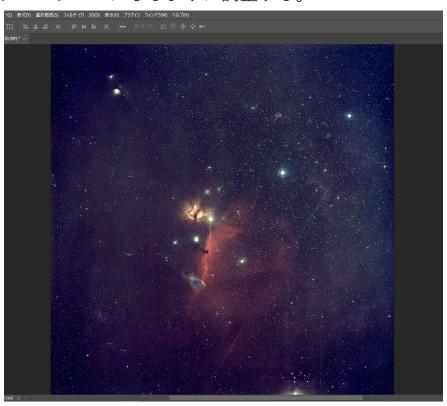
②チャンネルで「レッド」を選択し、レッドの入力レベルのみを表示する。 最小値と最大値のスライダーを、ヒストグラムを挟むように移動する。



③チャンネル「グリーン」と「ブルー」でも同じ操作を行う。

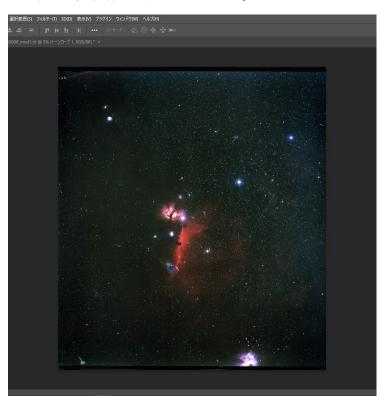


チャンネルを「RGB」に戻すと、 RGBの入力レベルが合っている ④ ②・③の操作を繰り返してRGBそれぞれのレベルを微調整し、本来のカラーバランスになるように調整する。



## 4. レタッチ

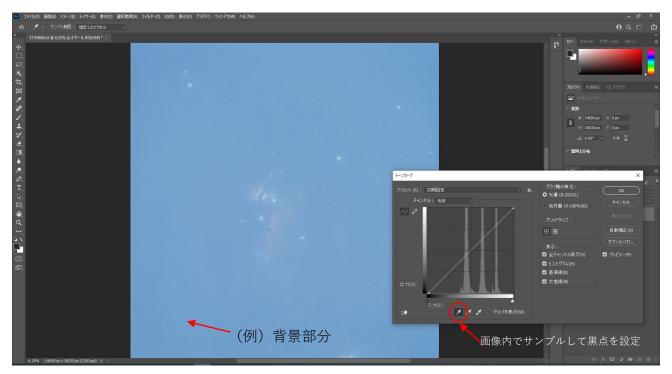
素材や目的に応じて、トーンカーブやレベル補正、コントラスト等の補正 を適宜行い、画像を完成させる。



## 補足:「3.入力レベル補正」の別のやり方

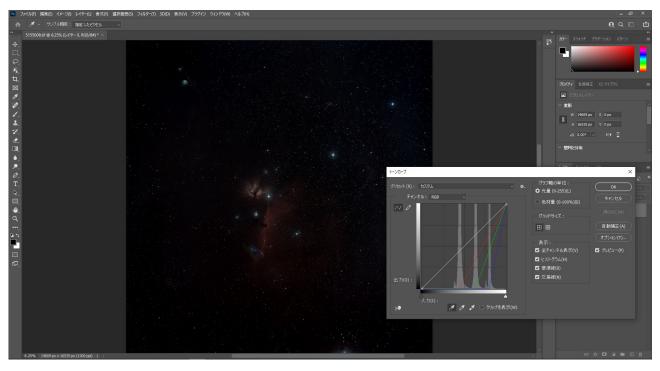
入力レベルをそろえる処理は、「画像内でサンプルして黒点を設定」の機能を使うと簡単に行える。

①イメージ → 色調補正 → トーンカーブを選択し、トーンカーブのパネルを開く。



②「画像内でサンプルして黒点を設定」を選択し、マウス (スポイトに変わる) で天体が写っていない背景の部分をクリックする。





色のバランスが補正された